



通 達

平成 21 年 1 月 19 日

社長 大中勝博

明けましておめでとうございます。

皆様から頂戴いたしました年賀状につき、紙面を借りて御礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。さて、先週の例会にて緊急発表をいたしました「第 18 期下期の特別方針」は次の通りです。他の事項は第 18 下期の「経営計画書(下期経営方針編)」を再度よく読んで下さい。

- (1)雇用を護る
- (2)教育投資をする
- (3)社員の健康を護る

1月例会では今後の経済見通しについても申し上げました。私はエコノミストではありませんが、嵐の時の船長として大胆に発表いたしました。現在は「百年に一度の経済不況」と言われていますが、経済「恐慌」は起こりません。しかし不況は今後、1年半位いります。これが私の見解であり、それに沿って当社の方途と対応策を決めます。

昨年 11 月 14 日にブッシュ大統領を議長とする世界 20ヶ国の首脳会議がワシントンで開かれ、世界金融危機の対策が協議されました。その直前、麻生首相は IMF(国際通貨基金)に 1,000 億ドルの資金援助をすることを決定し、この会議で大きな評価を得たのです。日本はこれにより世界金融恐慌を止め、世界に大きな貢献をしました。

日本のマスコミは誠にしからんのですが、この大貢献をあまり報道しません。従って、前月の通達から私は「客観情報といわれるものが、全ての真実を表してはいない」と言わざるを得ませんでした。金融恐慌は止まても経済が傷み、人々の経済心理は冷え込んでいますので、不況となり、回復に 1 年以上かかると思います。

IMF は各国中央銀行の中央銀行の様なもので、1944 年に第二次世界大戦終結後の体制として自由貿易を目指す趣旨で連合国主導で創されました。この合意はブレトンウッズ協定と言われています。為替は固定相場となり、日本では戦後 1 ドル 360 円に設定されました。

しかし、四半世紀を経て段々不利になった米国は固定相場制を離脱します。それが 1971 年のニクソン・ショックであり、翌年 1972 年のスミソニアン会議で世界は変動相場制に突入しました。IMF 体制ではタイのバーツ危機の時にも日本は大きな貢献をしました。

今から 11 年前、隣国韓国は外貨準備が破綻し国がデフォルト寸前に陥り、当時の小渕首相に救済要請をしたのです。日本は 100 億ドルを韓国銀行(中央銀行)に預け IMF の実効を担保し、韓国はその後は親日路線になったのです。

日本には力があるのです。今般の金融危機で通貨の価値が上ったのは「円」だけであり、実体経済は傷んでいない証拠です。必ず不況は短期に脱します。「短期」と言っても 1 年半ですから、しばらくは苦労することになります。しかし、The sun will always rise です。当社の緊急発表の意味をよく理解して頂き皆さんのご協力を願い申し上げます。

[人 事]

岩水裕之 平成 20 年 2 月 1 日を以て、社内研修および新人研修の担当を命じます。

[慶弔]

小松美緒 実父ご逝去を弔し、慶弔見舞金規定第 6 条により弔意見舞金を支給いたしました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

黒木孝則 祖母ご逝去を弔し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

[総務連絡]

平成 21 年 1 月 14 日の例会で発表いたしました趣旨に沿って、「休業・教育訓練協定書」を皆様と締結したいと思っておりますので、本件に付き質問等がある場合は 1 月 30 日までに総務または従業員代表(中嶋光一氏)までご連絡下さい。